



グローバルビジネスコース（GBC）レポート

令和8年2月第11号

1. GBC留学生の概要（9月入学生）

令和8年2月1日現在、GBCには28か国・1地域から計161人の留学生が在籍しており、地域別では東南アジアの割合が高い傾向となっています。

グローバルビジネスコース留学生在籍者数（2026.02.01時点）

地域区分	国・地域	在籍者数
東アジア	中国	2
	モンゴル	18
	台湾	8
	小計	28
東南アジア	カンボジア	2
	インドネシア	33
	ラオス	4
	マレーシア	2
	タイ	26
	ベトナム	32
	小計	99
南アジア	バングラデシュ	5
	インド	4
	パキスタン	2
	小計	11
中央アジア・中東	カザフスタン	1
	トルコ	3
	小計	4

地域区分	国・地域	在籍者数
北米・中南米	カナダ	1
	コロンビア	1
	小計	2
ヨーロッパ	ベラルーシ	2
	リトアニア	1
	ルーマニア	4
	イタリア	1
	ハンガリー	1
	小計	9
アフリカ	ガンビア	1
	モザンビーク	1
	ニジェール	1
	ルワンダ	1
	南アフリカ	1
	ザンビア	1
	ウガンダ	1
	エジプト	1
	小計	8
総 計		161

※入学時の登録国籍で計上

2. 新入生の声 ～2025 年 4 月、9 月に入学した GBC 新入生の声をご紹介します～

入 学：2025 年 9 月
名 前：BOUAPHAN XAYSAVANH（ブアパン サイサワン）
出身国：ラオス
趣 味：ギター、旅行、写真、ジム、日本語学習

① GBC を選んだ理由はなんですか？

GBC を選んだ理由は、留学生に日本語や日本文化を学ぶ機会を提供してくれること、そして日本での 4 年間の学びに役立つと考えたからです。このコースでは、上級経済学の授業も開講されており、経済学への理解をより深めることができます。こうした理由から、GBC は私にとって理想的な選択となりました。



② 授業はどうですか？また、どんなところが気に入っていますか？

一部の授業は確かに難しいですが、それを自己成長の機会と捉え、自身の弱点を補うことに役立っています。特に授業の雰囲気が気に入っています——多くの教授がオープンマインドで、学生は自由に質問し意見を共有できます。教授や講師に自分の考えを伝え、そのフィードバックから「自分の意見が尊重されている」と感じられます。

③ 将来の目標は何ですか？

将来的には、経済学の高度な専門知識を習得し、母国であるラオスが抱える課題解決に応用することを目標としています。同時に、日本語能力の更なる向上を図り、実用的なコミュニケーションが可能な第三言語として確立することも目指しています。

入 学：2025 年 4 月
名 前：喜多 愛心
出身国：日本
趣 味：映画鑑賞、絵画、音楽鑑賞

① GBC を選んだ理由はなんですか？

すべての授業が英語で行われ、留学生とともに学ぶことができる点が私にとって魅力的でした。将来は英語環境で働くことを希望しており、本学部を通じて英語運用能力を向上させたいと考え、GBC を選択しました。

② 授業はどうですか？また、どんなところが気に入っていますか？

授業には多くのプレゼンテーションやグループワークが含まれており、様々な人々と交流する機会が得られます。さらに授業は比較的柔軟性があるため、私の思考方法を強く刺激し、発展させてくれます。

③ 将来の目標は何ですか？

今後は、英語力をさらに向上させ、目指す専門資格を取得し、最終的にはずっと住みたいと思っていた国で、英語を活かした仕事に就くことです。



3. 式典関連

(1) 2025 年秋季学位記授与式



2025 年 9 月 18 日、神戸商科キャンパス国際交流センター（i-Square）において、「秋季学位記授与式」が举行されました。世界各国から集った GBC の卒業生 32 名に学位記が授与されました。

当日は、卒業生および教職員に加え、ご家族、県関係者、在外公館の代表者、並びに GBC に日頃よりご協力・ご支援を賜っている企業・団体の皆様にもご臨

席いただき、盛大に開催されました。

大学教職員一同は、すべての卒業生を誇りに思うとともに、家族や母国を離れて学業に励んできた努力と献身に対し、心から祝福の意を表します。留学生は、本学の教育・研究環境に大きく貢献しており、卒業生が今後も日本と母国との架け橋として活躍されることを願っております。

(2) 2025 年秋季卒業祝賀会

9 月 18 日夜、ANA クラウンプラザホテル神戸にて「秋季卒業祝賀会」が開催され、卒業生と大学教職員が一堂に会しました。

式典では、在校生および卒業生による心のこもったパフォーマンスが披露されたほか、ゼミごとに指導教員への感謝や学生生活の思い出を語る場面もあり、教職員と学生の深い絆を感じさせる温かい会となりました。ご欠席の先生方からも温かいメッセージが寄せられました。



本祝賀会は、在校生・卒業生・教職員の協力のもと、終始和やかな雰囲気の中で開催されました。

(3) 2025 年秋季入学宣誓式



9 月 19 日、神戸商科キャンパス国際交流センター（i-Square）において、「秋季入学宣誓式」が举行されました。今年はコロンビア、エジプト、ハンガリー、イタリアなど新たな国を含む 14 の国・地域から集まった GBC の新入留学生 32 名を歓迎しました。

式典には新入留学生に加え、遠方から駆けつけたご家族や県関係者、在外公館の代表者、並びに GBC に日頃より多大なご支援を賜っている

企業・団体の皆様にもご臨席いただきました。

式典では、学長による式辞をはじめ、来賓の方々からの祝辞が述べられ、日本で新たな大学生活を始める留学生たちに向けて激励の言葉が贈られました。

(4) 2025 年度 GBC スタートアップ支援金給付式

11 月 27 日、国際交流センター (i-Square) において、7 回目となる「スタートアップ支援金給付式」が開催され、9 月に入学した GBC 留学生 32 名に対し、支援金が給付されました。

本支援金は、留学生が日本で新たに大学生活を始める際の経済的負担を軽減し、学業により専念できることを目的としています。

このスタートアップ支援は、「GBC 留学生支援基金」を通じて実施されており、大学の教育理念にご賛同いただいた企業・団体等からのご寄附により運営されています。新たに入学した留学生は、貴重なご寄附と温かいご支援により希望に満ちた大学生活の第一歩を踏み出すことができいております。



4. 授業関連

(1) Overseas Language Program 修了式



2025 年 9 月 13 日、エンデラン大学（フィリピン）における 5 週間の「Overseas Language Program（海外語学研修）」を修了した GBC 日本人学生 52 名が帰国しました。

修了式では、一人ひとりの学生が修了証を受け取るたびに、クラスメートから大きな拍手が送られました。この 5 週間を通して、学生たちは英語力を向上させただけでなく、友人や教員、さらには地域社会との間に強い絆を築きました。

彼らの笑顔には、この経験がもたらした自信や新たな視点、そして一生の宝物となる思い出が映し出されていました。式典後も多くの学生が会場に残り、クラスメートや先生方と最後の時間を分かち合いました。

(2) 危機管理オリエンテーション

9 月 16 日、新たに来日した留学生を対象に、危機管理に関するオリエンテーションを実施しました。

本オリエンテーションでは、キョウ准教授による「地震・災害対策に関する重要なポイント」の説明に始まり、続いてシャー特任助教より「交通ルール」、「薬物の危険性」、「SNS 詐欺」への注意喚起が行われました。加えて、学生が利用可能な学内カウンセリングサービスについても案内があり、日本での新生活を安全かつ安心してスタートさせるための総合的な情報が提供されました。



(3) 広島でのフィールドトリップ



12月14日、金志教授の「Research Seminar I」を履修するGBCの学生が、日米の歴史について理解を深めるため、広島を訪れました。

広島平和記念公園および平和記念資料館では、専門ガイドの案内のもと、原爆投下時の状況について学ぶ機会を得ました。この体験を通じて、学生たちは広島がどのようにして今日の都市へと復興を遂げたのかを学び、自らが世界平和にどのように貢献できるかについて考察しました。

さらに、学生たちは日本の代表的な観光地である宮島も訪問しました。今回の現地調査は、次年度に学生たちが取り組む研究テーマ「持続可能な観光」に向けた基礎を形作るものとなりました。

(4) 日本文化体験

12月19日、ひょうご観光本部の協力のもと、GBCの学生たちは有馬温泉周辺と布引ハーブ園周辺でフィールドワークを実施しました。学生たちは2グループに分かれ、六甲ガーデンテラス行きと布引ハーブ園行きのロープウェイをそれぞれ利用し、現地で外国人観光客を対象に調査を行いました。調査テーマは、以下の通りです。

- ・ 外国人観光客の視点から見て、観光地を魅力的にする要素は何か。
- ・ 兵庫県の認知度を高めるためには、どのようなプロモーションや情報が効果的か。
- ・ 外国人観光客に兵庫県に長く滞在（県内周遊）してもらうために、宿泊施設に求められる要素は何か。
- ・ 兵庫県での観光消費を増加させるために、外国人観光客がお金を払ってでも体験したいことは何か。

調査終了後には、学生たちは有馬温泉と布引ハーブ園で、現地の魅力を満喫しました。



(5) 日本語・日本文化体験旅行

2026年1月16日、GBCの学生たちは恒例のフィールドトリップとして、「大阪くらしの今昔館」を訪れました。

学生たちは、江戸時代の街並みを原寸大でリアルに再現した展示を見学し、当時の美しい町家や伝統的な店舗の様子を間近に体感しました。また、歴史的な住宅展示では、当時の生活道具にも触れる機会があり、暮らしの工夫や文化への理解を深めました。



希望者は、着物の試着体験もでき、日本の歴史や社会について学ぶ貴重な機会となりました。

5. コンテスト関連

(1) GBC 写真コンテスト 2025

GBC 写真コンテストは、GBC 学部生および GB（グローバルビジネス専攻）大学院生を対象に毎年開催されています。今年は、「学内/学外」と「寮生活」をテーマに、学生から 11 点の素晴らしい作品が寄せられました。2025 年 12 月 15 日には、最優秀賞、優秀賞、入賞の上位 3 作品の受賞者に対して、表彰状と記念品が授与されました。

これらの入選作品は、国際交流センター（i-Square）の 1 階ロビーに展示されており、ご来館の皆様にご覧いただいています。



(2) ビジネスプランコンペティション

2026 年 1 月 30 日、ビジネスプランコンペティション「VENTURinno 2026」が開催されました。本コンペでは、「起業と持続可能な開発目標（SDGs）」をテーマとし、持続可能な社会・経済の実現において起業家精神が果たす役割について、専門家を交えながら議論が深められました。

本コンペには、GBC の学部生および交換留学生 30 名からなる 6 チームが参加し、持続可能なビジネスモデルを通じた社会課題の解決を目指し、それぞれ独自性に富んだ提案が披露されました。

受賞結果は以下の通りです。

- 最優秀賞：「Duogym」
共同で利用できるジム会員制の提案が評価されました。
- 準優秀賞：「Companion」
孤独を解消するサービスとして注目を集めました。
- 第 3 位：「Japan Mate」
日本在住外国人の日常生活をサポートする即時対応型サービスが提案されました。

学生たちは、本コンペを通じて実践的なビジネス提案の経験を積むとともに、現場で活躍する実務家や経営者から直接助言を受け、起業家精神への理解を深めました。

6. 留学生就職関連

神戸商科キャンパスでは、留学生の就職支援に向けて、就職関連情報を学生向けのポータルサイト「ユニバーサルパスポート」と「キャリアセンター」前の掲示板にて随時提供しています。日本での就職を希望する学生には、就職セミナーに積極的に参加し、セミナーで有益な情報や知識を得て、それらを将来のキャリアに役立てることを期待しています。

(1) 就職活動セミナー



2025 年 11 月 13 日、GBC の卒業生で台湾出身のリンさんが本学を訪問し、「Research Seminar I・III」および「Thesis Seminar II」の履修生に向けて講演を行いました。

現在、神戸市内の中小企業において営業部門に勤務するリンさんは、留学生の視点から、日本での就職活動および就労経験について貴重な知見を共有しました。また、学生の就職活動を支援する主要な SNS プラットフォームについても紹介しました。

当日は 14 名の学生が参加し、日本における留学生のキャリア展望について活発な意見交換が行われました。本講演は、国際的に活躍する卒業生との継続的な連携を通じて、GBC 卒業後の進路に関する理解を深めることを目的とした、新たな取り組みの第一歩となりました。

(2) キャリアセミナー



12月2日、横山教授の「Labour Economics」の授業で、森興産株式会社よりゲストスピーカーを招き、4月入学および9月入学のGBC学生を対象としたキャリアセミナーを実施しました。

同社は、日本在住の留学生を支援するポータルサイト「WA. SA. Bi.」を運営しており、就職活動やビザ、日常生活に関する各種サポートを提供しています。

学生たちは、就職活動のスケジュールや日本企業の特徴など、日本での就職活動に関する多くの有益な情報を学ぶ機会を得ました。

7. イベント関連

イベント名	日時	内容	主催
1) 国際学生寮チャリティーイベント 	2025 年 9 月 30 日	新入留学生の支援を目的に実施され、教職員から寄付された食器や文具、その他の生活用品などが提供されました。今年で4回目を迎え、寄付品の数が年々増加しています。	GBC 事務局
2) 新入生歓迎イベント 	10 月 14 日	新たな生活の始まりを祝うとともに、友情や多様性、そして新しい出発を称え、すべての新入寮生を温かく歓迎するために開催されました。RA 達がハンカチ落としやじゃんけん列車などのゲームを企画するなど、素晴らしい交流会を実施してくれました。	RA、国際学生寮担当教員
3) クリーンアップイベント 	11 月 4 日	約 30 名の寮生が参加し、キャンパス周辺、学園都市駅までの道路、寮内共有スペースを清掃しました。日本人学生と留学生が積極的に参加し、「自分たちの生活環境は自分たちで清潔に保つ」という意識を大切に、協力して活動に取り組みました。	RA、GBC 事務局

イベント名	日時	内容	主催
4) 消防避難訓練 	11 月 21 日	国際学生寮で消防避難訓練を実施しました。2 階での火災発生を想定し、全寮生が非常階段を利用して避難しました。避難場所のグラウンドに集合した後、消防隊員による防火安全及び消火器使用の実地指導が行われました。寮生たちは、非常に活発に訓練に参加し、防火安全の重要性を学びました。	RA、国際学生寮担当教員、GBC 事務局、管理人
5) 寮生親睦会（冬季） 	12 月 16 日	約 60 名の寮生が参加した本イベントでは、クイズや椅子取りゲーム、ビンゴなどの交流企画に加え、ハイライトとして学生によるライブパフォーマンスが行われました。ビートボックス、ギター、歌、ユーフォニアムなど、多彩な演目が披露され、国境を越えた友情を育むとともに、学生が芸術的才能を披露する素晴らしい機会となりました。	RA、国際学生寮担当教員
6) 兵庫高校 International Day 留学生交流会 	2026 年 2 月 6 日	兵庫高校の生徒 42 名と GBC 留学生 14 名が参加し、各国・地域の祝祭日における食べ物や習慣、時間感覚、ジェンダー観などをテーマに多文化交流を行いました。高校生にとって、世界への関心を高め、英語を学ぶ意欲を高める貴重な機会となりました。	兵庫高校

編集：特任助教 潘建秀、特任助教 シャー サードー アーメド